

令和7年度 府中市立四谷小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第4学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	①登場人物の行動や気持ちなどについて、考えること。 ②語彙の量を増やすこと。 ③習った漢字を文や文章の中で使って書くこと。	①物語文を読んで内容を説明したり、考えたことを伝えあったりする言語活動を増やす。物語全体を通して、叙述を基に登場人物の行動や気持ちを考える授業を展開する。【対話・表現】 ②日々の授業の中で国語辞典を活用して語句の量を増やし、話や文章の中で使う。読書を推進する。【対話・発見】 ③文や文章を書く時には、学習した漢字を使う習慣が身に付くように指導する。漢字辞典を利用して調べる活動を取り入れる。繰り返し練習する時間をとる。【表現】	B	
算数	①四則計算を確実に処理すること。 ②問題場面を読み取り、式や図に表すこと。 ③図形の意味や性質を理解すること。	①四則計算の習熟を図る。【表現】 ②問題から必要な数値を読み取り、問題場面的に確にとらえ、問題解決する力を培う指導の充実を図る。【発見・決定】 ③図形の意味や性質を理解させるために、用語を指導する。また、図形を弁別したり作図したりするときに、学習した用語を使って説明する活動を意図的に行う。【対話・表現】	B	
理科	①観察・実験で使用する器具の使い方を理解し、正しく扱うこと。 ②観察や実験の結果を、問題や予想などに照らし合わせて考察すること。 ③問題解決の見通しをもち、予想を立ててから観察・実験を行うこと。	①新出の器具や観察・実験方法、留意点について確認する。【発見】 ②問題、予想に立ち返りながら、考察の視点を確認する。【対話・表現】 ③単元を貫く学習問題を立て、何を解決するための活動なのかを意識させる。【対話・決定】	B	
社会	①課題に応じて適切に資料を読み取れること。そして、課題解決に活かすこと。 ②調べ学習において、必要な資料を探し出せること。そして、その中から必要な箇所を取り出したり、選んだりすること。	①まず、資料を正しく読み視点(数値、単位等)を共有する。次に、資料を読み取る視点(比較、変化、類似等)を共有する。その際、児童同士の交流を通して、様々な考え方に気付かせる。【発見・対話】 ②キーワードをもとに本を選んだり、タブレットで検索したりする活動を充実させる。その際、引用の方法、出典の書き方について、国語科の学習内容と合わせて指導する。【発見・表現】	B	
音楽	①リコーダー演奏の基礎的技能を身に付けること。 ②音楽の仕組みを使ったまとまりある音楽づくりができること。	①既習事項を繰り返し確認し、スモールステップの課題を用意し、達成感が感じられる授業構成を行う。お互いに教えあう活動を取り入れ、互いの技能の定着につなげていく。【対話・決定】 ②音楽づくりの技能の定着を図り、既習事項を繰り返し確認していく。ICT機器やワークシートの活用によって、子供自身が音楽の仕組みを容易に取り入れやすい環境を整える。【決定】	A	
図画工作	①材料や用具の基本的な扱いを理解すること。 ②表したいことに合わせて創意工夫して表すこと。	①実物を用いた演示やICT機器を活用して、分かりやすい資料や掲示物の充実を図る。【発見・対話】 ②既習事項や経験に立ち返り、進め方や表現方法選択できるようにする。【決定・表現】	B	
体育	①運動の仕方を理解し、基本的な技能を身に付けること。 ②自分に合った運動の課題やめあてをもち、運動方法を正しく選択できること。	①ICT機器を活用しながら自己の課題を見つけ、解決に向かって仲間と協力する活動の充実を図る。【発見・対話】 ②段階的に技能を習得できる場を設け、習熟に応じて、児童が自分に合った運動を選択できるようにする。【決定・表現】	B	

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。